

COLORS, FUTURE! ACTIONS KAWASAKI 100th

2024年、川崎市は市制100周年をむかえます。

貨物の拠点から、先端技術の拠点へ。新川崎は産業を育むふるさとです。

1929年に完成した新鶴見操車場。貨物輸送の拠点として東洋一の規模を誇り、京浜工業地域の発展を育みました。現在、新川崎駅に隣接するその跡地は最先端技術研究の拠点へと変貌。姿を変えても産業や技術を育む場所であり続けています。私たちの毎日も、きっとこの土地と歴史に刻まれていく。

100年目の川崎市ではじまるColors,Future! Actions。

このまちを発展させてきた人たちに感謝を抱きながら、
未来の人たちへとつないでいく多彩なアクションを、さあいっしょに。

Photo / 幸区 新鶴見操車場 神奈川県立公文書館所蔵 昭和35(1960)年頃



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

川崎市市制100周年記念

7区の歴史を振り返る



特設サイト

<https://www.city.kawasaki.jp/170/page/0000147126.html>

2024年、川崎市は市制100周年をむかえます。

その歴史を知るため、川崎市7区をぶらりと歩いてみました。

それぞれの区の昔の写真を手に、歩いて、見て、聞いて、感じて、発見したこと。それは今に至る100年の発展の理由でした。

あなたの住んでいるまちの昔を知っていますか？

過去にはこれからの100年先の未来を考えるヒントが、きっとあるはずです。

裏面では
幸区を
ぶら歩き!

歩いて発見！
知ってナルホド！

ぶら



縄文時代から この地に人々が 暮らし続けた理由とは？

加瀬山は縄文時代には島でした。貝塚も発見され、太古の昔から住みやすい環境がこの地にはあったと分かります。現在の幸区も工場跡地の再開発などを経て、とても人の住みやすい街になってきました。

MAP



幸区役所
まちづくり推進部
企画課
大野裕海子さん

夢見ヶ崎
公園



1954

カラー化写真

提供：小串嘉男氏



2022

提供：神奈川県公文書館（所蔵）



2022

操車場はあまりにも広大だったために、完成後は地元住民たちの生活に多大な影響を与えた。たとえば当時の小倉村は地域が2分割され、東小倉と西小倉に分かれた。両者を行き来するには、江ヶ崎・小倉・鹿島田という3つの跨線橋を渡るしかなく、村民は大変不便だった。



1960

カラー化写真

新鶴見
操車場

JR新川崎駅の改札を出てすぐの鹿島田跨線橋は、多くの貨物列車を見ることができ、人気のスポット。「金網越しに珍しい電気機関車やディーゼル機関車が見えるので、撮影する人が多いんですよ」と教えてくれたのは、幸区役所の大野裕海子さん。この一帯にはかつて東洋一とうたわれた新鶴見操車場があった。臨海部にある工業地帯と全国各地を行き来する貨物列車操車場のため、1929（昭和4）年に完成し、その面積は約80ヘクタール！なんと東京ドーム17個分の広さだったのだ。最盛期には1日5000両もの車両を操車していたが、トラック輸送が主流となると



創造のもりでは、K²タウンキャンパスの他、かわさき新産業創造センター（KBIC）があり、同本館、ナノ・マイクロ産学官共同研究施設（NANOBIIC）、産学交流・研究開発施設（AIRBIC）といった施設で研究が進められている。

東京ドーム17個分もある 東洋一の操車場跡

「JR新川崎駅の改札を出てすぐの鹿島田跨線橋は、多くの貨物列車を見ることができ、人気のスポット。金網越しに珍しい電気機関車やディーゼル機関車が見えるので、撮影する人が多いんですよ」と教えてくれたのは、幸区役所の大野裕海子さん。この一帯にはかつて東洋一とうたわれた新鶴見操車場があった。臨海部にある工業地帯と全国各地を行き来する貨物列車操車場のため、1929（昭和4）年に完成し、その面積は約80ヘクタール！なんと東京ドーム17個分の広さだったのだ。最盛期には1日5000両もの車両を操車していたが、トラック輸送が主流となると

ぶら幸区①
新鶴見
操車場跡

その使命を終えた。1984（昭和59）年に、信号場としての機能を残して貨物区は廃止。長距離貨物列車の発着はあるものの、広大な貨物区は更地となった。跨線橋を下りて左折し、南に向かって歩いてみた。道路の左側には新しいマンション群が、一方の右側には「新川崎・創造のもり」が見えてきた。2000（平成12）年に川崎市と慶應義塾大学の連携により開校したK²（ケイスクエア）タウンキャンパスなどがあり、産学官地域連携の研究プロジェクトが進められている。川崎市は今、緑化と最先端技術研究の拠点として再開発を進めており、将来が楽しみだ。

新鶴見操車場跡から西に向かつて、ちよっと山登り。階段の段差のところに動物の足跡マークが組み込まれていた。なにが待っているのかワクワクしながら、標高30m余の加瀬山の上、夢見ヶ崎公園に到着。かつてはここから東京湾を一望できたという。ビルが建ち並ぶ現在はずがにそれはかなわないまでも、広い範囲を見渡せて気持ちがいい。なるほど絶景スポットゆえに夢見ヶ崎という素敵な名前が付いたのか、と勝手に感心していたら、まったくの勘違いであることが判明。江戸城を築いたことで知られる太田道灌は、この地に築城を計画していた。しかしある晩、自分の兜を鷲に持ち去られるという縁起の良くない夢を見て、断念したという。それにちなんで夢見ヶ崎と命名したという伝説があるのだ。



白山古墳周辺から発掘された秋草文壺は、平安時代に作られた壺。高さ42cmほどで、ススキ、ウリ、ヤナギといった秋草やトンボの文様が描かれている。慶応義塾が所有し、東京国立博物館に寄託されている。



築城を考えた太田道灌の悪い夢から 夢見ヶ崎動物公園の名前が？

公園の先を奥に進んでいくと、目の前に現れたのは緑のトンネル。カイズカイブキが数十mに渡って左右2列に植えられ、その枝が上方で重なるように連なってトンネルを形成しているのだ。童心に返ってトンネルをくぐり先を進むと、なんの前触れもなくレッサーパンダと御対面！加瀬山には夢見ヶ崎動物公園があるが、入場料無料のため、特に出入り口もない。気が付けば動物たちの園舎の前に、着いていたという次第。1972（昭和47）年に動物コーナーを開設したのが始まりで、入場者の5割を占める乳幼児連れの家族に愛されている。「昨年クラウドファンディングを行いました。目標の約6倍の寄付と応援メッセージをいただきました。とても感謝しています」と大野さん。こんなところにも、幸区が子育て世代に支持されていることが分かる。

後半のものだと考えられている。またそのうちのひとつ、白山古墳の周辺から出土した秋草文壺は、川崎市唯一の国宝に指定されている。さらに時をさかのぼって縄文・弥生時代。その頃の貝塚等も発見されている。この地域で縄文・弥生時代から人々の暮らしが営まれて、近代においては臨海工業地帯を支える物流拠点となった。そして現在は、先端技術の拠点として変わり続けているのである。

ぶら幸区③
夢見ヶ崎
動物公園

レッサーパンダもシマウマも 無料で会いに行ける



夢見ヶ崎動物公園は、川崎市内唯一の動物園。比較的小型の動物が多く、子どもたちから人気のシマウマやペンギン、ピンクフラミンゴなど約60種類、約400点の動物を見学できる。入園料無料で年中無休。

白黒写真カラー化プロジェクトとは

かわさきマイスターの印刷技能士・流石栄基さんにより、昔の川崎の白黒写真20作品をカラーで再現しました。プロジェクトはガバメントクラウドファンディングによって実現されました。

幸区がシェア100%？

新幹線の自動改札機は、幸区内で設計されたものが全国シェア100%。幸区役所が開催した「鉄ハグ2022～鉄道でハグくむ幸～」での展示も、新幹線の自動改札機が目玉だった。

加瀬山は島だった？

かつて、鶴見川・矢上川あたりまでは海で、加瀬山は小島のような島だった。加瀬山南東では貝塚が発見され、人が暮らし続けていたと考えられる。発掘された貝の9割はハマグリだった。

幸区トリビア

